Brush up Program for professional

医療・保健　学びなおし講座　概要

文部科学省「職業実践力育成プログラム」（BP）制度に認定されました！

医療・保健分野では、日々進歩する医療現場に適切に対応することができる専門知識・技能をそなえた医療人の育成と人材の社会への還元が極めて重要です。出産あるいは育児などで職場を離れた医師、看護師、薬剤師、保健師などが最新の医療現場への復帰することは容易ではありません。この状況は、特に女性の医療人の数が慢性的に不足している要因のひとつです。このような社会のニーズと医療現場が抱える課題に対して、名古屋市立大学では平成２０年から、医療人が医療の進歩に対応した能力を身に着けること、さらには職場復帰を支援することを目的として実践的・専門的で、幅広いニーズに対応した社会人教育プログラムを提供しています。

１年間で６科目を開講し、出席と課題レポートにより成績を評価、条件を満たせば受講修了証を授与、原則６科目（１２０時間以上）を修了することで履修証明試験の受験資格が得られ、合格者には、文部科学省「履修証明プログラム」に基づき「履修証明書」を授与します。

受講対象者

医療・保健分野の国家資格保有者、資格保有者以外でも講義内容に興味のある方。

開講科目

春期（４～７月）と秋期（９～１２月）に各３科目、１年で計６科目開講します。
各科目は火、水、木曜日にそれぞれ１５回の授業（講義または実習）です。
例えば、春期の火曜日の科目を受講する場合は、４～７月の毎週火曜日に１５回連続して授業を受けます。
授業スケジュール（シラバス）は毎年３月初旬に学びなおし講座ホームページ（http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/）とパンフレットにて公開します。

開講時間と会場

➤開講時間：午後６時半～午後８時
➤開催会場：名古屋市立大学　桜山キャンパス内
・医学研究棟１１階　講義室ＡまたはＢ
・病院西棟１階　臨床シミュレーションセンター

受講料

１科目（１５回の授業）１４，８００円

託児サービス

１回２，０００円でご利用頂けます（講義室近くのお部屋です）。

Web 受講サービス

授業を欠席された方や復習のために「受講生専用サイト」にて、授業映像を配信しています（非公開映像あり）。

Career Re Design

お問い合わせ先 ： 名古屋市立大学医学部事務室内
学びなおし講座事務局
manabi@med.nagoya-cu.ac.jp

（様式１）

職業実践力育成プログラム（BP）への申請について

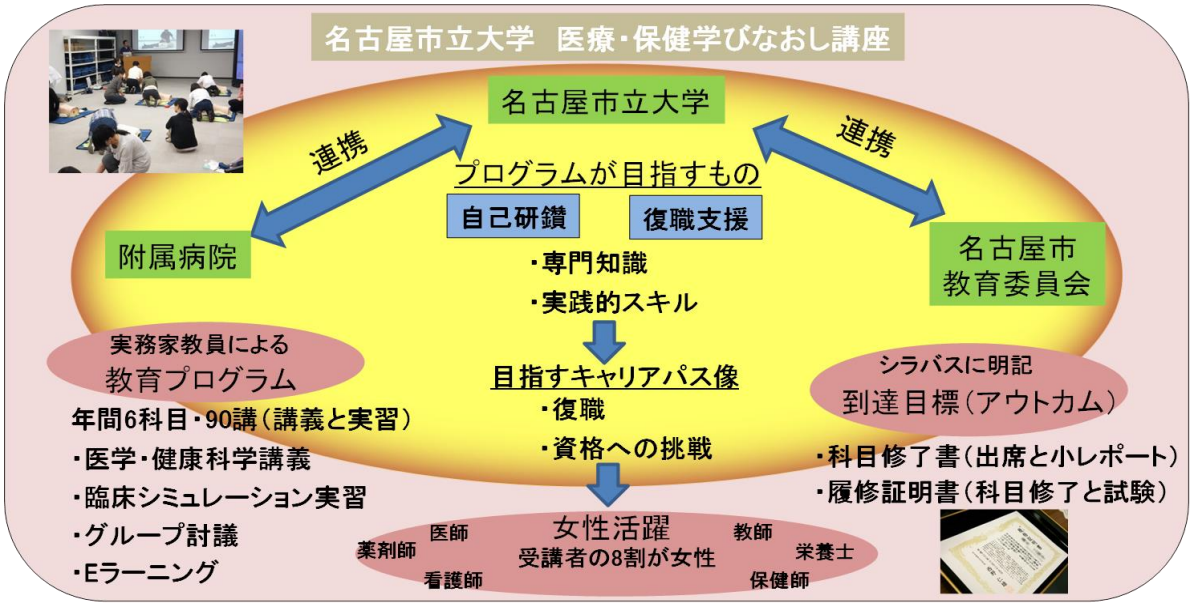
平成27年10月7日

文部科学大臣殿

名古屋市立大学
学長　　郡　健二郎　　印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名：	名古屋市立大学	②所在地：	〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地		
③課程名：	医療・保健　学びなおし講座	④正規課程／履修証明プログラム：	履修証明プログラム	⑤開設年月日：	平成20年12月
⑥責任者：	医学研究科　教授・ 酒々井　眞澄	⑦定員：	300名	⑧期間：	1年間
⑨申請する課程の目的・概要：	**教育課程の目的：**医療・保健分野では、日々進歩する医療現場に適切に対応することができる専門知識および技能をそなえた、医療人の育成と人材の社会への還元が極めて重要である。また、出産、育児あるいは介護のためにいったん職場を離れた医師、看護師、薬剤師、保健師などにとっては最新の医療現場への復帰は容易でない。この状況は、特に女性の産婦人科医師、小児科医師、看護師、保健師、助産師の数が慢性的に不足している要因のひとつである。このような社会のニーズと医療現場が抱える課題に対して、名古屋市立大学では平成20年から、各分野の医療人が医療の進歩に対応した能力を身に着けること、さらには職場復帰を支援することを目的として実践的・専門的で、幅広いニーズに対応した社会人教育プログラムを提供している。理事長・学長が代表者となり、全研究科・学部の教員が参加し運営にあたる体制である。 **教育課程の概要：**本プログラムでは通年で6科目、全90講（15講×6科目=90講）の講義（討論形式含む）と実習を開講している。春期（4月～7月）と秋期（9月～12月）に各3科目が設定される。授業は90分より成り、学生用講義室（100～200名収容可）あるいは本学附属病院内の臨床シミュレーションセンター（平成23年3月設置、愛知県全域の医療者、学生向けの医療技術向上を目指す研修施設）を利用して実践的な授業を行っている。出席と課題レポートにより成績を評価し、条件を満たせば各科目の受講修了証を授与している。原則6科目（120時間以上）を修了することで履修証明試験の受験資格が得られる。合格者には、文部科学省「履修証明プログラム」に基づき、学長名にて「履修証明書」を授与する。授業は社会人が受講しやすいように勤務時間後の午後6時半から午後8時に行われる。全研究科・学部内あるいは学外に講師を依頼し、医療・福祉・介護等の専門性の高い授業を提供している。概要を下図に示す。 

⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍	⑪履修資格:	医師、薬剤師、看護師、助産師、保健師の国家資格保持者または資格なし
⑫対象とする職業の種類:	医師、薬剤師、看護師等の医療・保健分野の国家資格保持者または一般		

⑬身に付けることのできる能力:

（身に付けられる知識、技術、技能）

医療系科目（医師・看護師・薬剤師等向け）
- 疾病の病態、アップデートの診断法・治療法・予防策・薬力学
- 緊急時・災害時・急性期の疾病への対応技能、周産期医療への対応技能
- 薬力学の理解、医療現場での患者対応能、医療経済知識と立案能力
- 疾病の最新知見修得と現場への応用能

福祉系科目（看護師・理学療法士・介護福祉士等向け）
- 地域医療・介護医療の現状把握と実践的対応技能
- 在宅医療現場での医療訴訟を防ぐ知識
- 薬剤選択と使用のスキルアップ
- 患者ケア、家族ケアのスキルアップ

教育系科目（教師・言語聴覚士・行政職等向け）
- 発達障害児の教育・療育への基礎知識とケア技術、現場での応用スキルアップ

（得られる能力）
- 医療現場でのコミュニケーション能力
- チーム医療やチーム教育でのリーダーシップの強化とスキルアップ
- 他者への知識および技能の指導能力
- 診断や治療法選択での判断能力・問題解決能力
- プレゼンテーション能力と状況判断能力

⑭教育課程:

申し込みと科目選択:受講申し込みは各期開講約１カ月前に、次年度の科目と授業内容をホームページおよびリーフレットにて公開している。開講科目一覧（6科目、全90講）から受講したい科目を決める。受講希望者は期限までにリーフレットの申し込み用紙に必要事項を記入し「名市大　学びなおし講座」宛に郵送またはホームページよりダウンロードした申込用紙に入力し、Eメール添付・送信する。受講料は1科目（90分×15講）あたり14,800円である。

科目:「病気を防いでからだを守る一治療から予防へのパラダイムシフト」、「神経発生および退行変性の観点から神経疾患を読み解く」、「発達障害を学ぶ：医学的理解から教育／養育へ」を受講することで疾病の病態や最新知見の修得、診断・治療法、予防策、薬力学、医療経済について専門知識とその臨床応用を習得させる。科目「急性期・災害医療スキルアップ一緊急事態で慌てないために」、「Birth Tour″REAL″-安全なお産を目指して-」、「超高齢社会で把握したい在宅医療・地域医療」を受講することで急性期、周産期医療の専門知識と現場での緊急時対応技術、周産期の実践的ケアと妊婦・家族対応、チーム医療のスキルアップを図る。また、地域医療・介護医療の現状把握、患者と家族ケアへの基礎知識と技能、医療訴訟を防ぐ知識、発達障害児への教育・ケア技術、コミュニケーション能力、リーダーシップ等を習得させる。科目「病気を防いでからだを守る一治療から予防へのパラダイムシフト」、「超高齢社会で把握したい在宅医療・地域医療」、「発達障害を学ぶ：医学的理解から教育／療育へ」ではグループ討議の授業を取り入れることで状況判断力、プレゼンテーション能力を習得させる。特に臨床シミュレーションセンターでの実習では臨床現場を再現した状況下（大人および小児蘇生用人形、分娩人形、実際の医療機器）での実践的な技術と判断能力を習得させる。

受講（出席）:受講者は受付後、授業に参加し講師から出された課題に解答する。これを毎回提出することで最終的に出席としている。

Eラーニング（補習・復習）:仕事の都合などで自身の受講科目の授業に出席できなかった場合あるいは復習用に、本講座ホームページ内のにある「受講者専用サイト」を通じて補習・復習（授業映像閲覧）することができる。講義資料も当サイトからダウンロードすることができる。受講者には当サイト閲覧用にIDとパスワードを発行し、当該補講システムを管理している（授業内容によっては視聴制限を受ける場合がある）。

台風等への対応:台風等への対応では、本学の学部・大学院生への対応に準じてホームページと学内掲示板等にて適宜受講者へ伝達している。過去のすべての休講例では、日程を改めて講義を行った。

⑮修了要件（修了授業時数等）:

授業ごとに講師から出された課題に解答する。これを毎回提出することで出席とする。成績評価については課題の内容（100点）および出席状況（100点）を合わせて120点以上の得点で各科目の受講修了証を授与する。原則6科目（1講90分×15講×6科目、120時間以上）を修了することで履修証明試験の受験資格が得られる（1講90分×15講プラス30分のEラーニングを聴講し4科目（1講120分×15講×4科目、120時間）を修了する案を検討中である）。科目ごとに講師が出題する各10問（出題は五者択一問題、各講師が2題を作問し、その中から計60問を出題、試験は本学教室内で筆記にて実施）に解答し、計6割以上の正解により学長名で履修証明書を授与する。

⑯修了時に付与される学位・資格等:	「医療・保健　学びなおし講座」履修証明書（学長名、学長印）						
⑰総授業時数:	135　時間	⑱要件該当授業時数:	105	該当要件	1，2，3	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	78%
⑳成績評価の方法:	授業ごとに講師から出された課題に解答する。これを毎回提出することで出席とする。各授業での受講者提出課題の内容（100点）プラス出席状況（100点）のうち120点以上の得点で受講修了証を授与している。						
㉑自己点検・評価の方法:	**自己点検と評価（学内）:**講義（実習）出席者には毎回、講義の理解度（5段階評価）、満足度（5段階評価）、改善点（自由記述）についてアンケートを行っている。くわえて、科目終了までに自由記述式で講義の内容で印象に残ったこと、気づいた点、感想などをアンケートしている。定期的に開かれる公開講座企画運営委員会では、アンケート結果と受講者の年齢、性別、職種などの割合も参考に次年度の科目を選定している。受講生からのコメントを、課題の抽出と改善に向けた取り組みに生かしている。たとえば、開講科目への希望、開講時間帯、資料の情報量と見易さ、スライドの見易さ、受講料値上げなど多岐にわたる項目を検討している。また、各講師へのアンケートでは受講者の受講態度、満足度、次年度開講希望科目などについて意見を集約し企画に反映させている。受講者へのアンケート結果はホームページに公開している。今後7年間に「学びなおし学部」を設置することは本学の未来プランに掲げられており、本教育プログラムの継続と充実は大学全体の取り組みとして毎年評価、検証される。 **評価（学外）:**学外からの評価として、毎年開かれる「知の市場」年次大会に参加している。年次大会では、公開講座企画運営委員会委員長が「名古屋市立大学　学びなおし講座」の計画と実績および課題と改善策に係る報告を行い、会場出席者からコメントとして評価を受け、その後の公開講座企画運営委員会で改善策等を検討している。（尚、「知の市場」はプロ人材の育成と社会人教育を目的に実践的な学習機会を提供している大学・企業・各種団体等の33開講機関、41連携機関より成る、49機関より評価委員計108名、事務局はお茶の水大学内にある。http://chinoichiba.org/index.html）						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	受講者へのアンケート調査により効果検証を行う。アンケートで「休職中」あるいは「復職希望」と回答した受講修了者に対し、封書にてアンケート調査を行う（修了後1年以内に送付）。修了後の就業、今後の就職活動等の状況につき回答を得ることで効果を判定する。受講者全員に対しては、修了後の医療あるいは教育現場等での思考変容、行動変容、求める成果などについて自由記述でのアンケートを行う。結果を、学内の公開講座企画運営委員会で分析し、今後の科目内容、講義内容、実習のスキルレベル、幅広いニーズへの対応策、受講のアウトカム（到達目標）と就業への方向性（キャリアパス）を明確に示すことができる科目編成に生かしていく。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	**（教育課程の編成）** 学内の公開講座企画運営委員会には本学附属病院から6名の委員（全員が教授）が加わっており、定例委員会にて次年度の科目編成と講義・実習内容を議論する体制をとっている。また、当委員会での議論は附属病院での部長会で検討することができるため、実質的な連携ができている。医学研究科長（医学部長）も特任委員であるため、大学理事会、名古屋市医師会等の外部団体との意見交換ができる体制である。発達障害の科目では、名古屋市教育委員会指導室と連携して科目編成、講師候補者検討を行っており、地域・在宅医療の科目では、本学地域医療教育学の臨床教授でもある、名古屋市医師会の在宅医療部会長と科目選定について検討を行い、講師も引き受けていただいている。 **（自己点検・評価）** 学内の公開講座企画運営委員会の定例会議では、受講者および講師アンケートの結果、受講者数などから課程編成の適切性・改善点を評価、点検している。検討事項等について当該委員、研究科長を通じて附属病院、外部団体関係者にフィードバックし、意見聴取している。						

㉔社会人の受講しやすい工夫:	・幅広いニーズに対応した科目選択ができる。 ・授業は勤務時間後の午後6時半から午後8時に行われる。 ・育児中の受講者向けに託児サービスを実施している（託児所は施設内、2,000円/1回）。 ・Eラーニングを提供している（欠席あるいは復習用に授業映像を視聴可、受講生専用サイトで公開、期間は開講後約1年間、一部制限あり）。 ・広報の充実（本学ホームページ以外に802か所の病院・公共施設等に情報発信している）。 ・定員を超える受講希望者への対応（現状では全員受講可）。 ・台風等への対応（ホームページでの休講事前通告）。
㉕ホームページ:	(URL)http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/

事務担当者名:	横井　麻菜美	所属部署:	名古屋市立大学医学部事務室企画係
連絡先:	(電話番号)052-853-8077 (E-mail)yokoi-manami@sec.nagoya-cu.ac.jp		

＊パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

（様式2）

授業科目の概要について

学校名:	名古屋市立大学
課程名:	医療・保健　学びなおし講座

要件該当授業時数:	105時間
要件該当授業時数／総授業時数:	105／135

分類	科目名	配当年次	授業時数・単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
自由選択	病気を防いでからだを守る －治療から予防へのパラダイムシフト	－	15／22.5時間	○	○	○		中村　敦	名古屋市立大学病院 感染制御室
自由選択	神経発生および退行変性の視点から、神経疾患を読み解く	－	19.5／22.5時間	○		○		松川　則之	名古屋市立大学大学院 医学研究科
自由選択	超高齢社会で把握したい在宅医療・地域医療	－	12／22.5時間		○	○		赤津　裕康	名古屋市立大学大学院 医学研究科
自由選択	急性期・災害医療スキルアップ-緊急事態で慌てないために	－	22.5／22.5時間	○		○		笹野　寛	名古屋市立大学病院 救急科
自由選択	発達障害を学ぶ：医学的理解から教育／療育へ	－	13.5／22.5時間	○	○	○		飛田　秀樹	名古屋市立大学大学院 医学研究科
自由選択	Birth Tour″REAL″ －安全なお産を目指して－	－	22.5／22.5時間	○		○		尾崎　康彦	名古屋市立大学病院 分べん成育先端医療センター
合計:	6科目		105時間						単位or時間

＊申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

＊「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に〇を入れた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。